

新しい宇宙論

この記事はブライアン・スイミー博士へのインタビューを編集したものです。

宇宙に関する議論、それは、私達がこの世界で生きていく方向を見極める手段です。人間は、これを必要としている、という事です。蝶々は、宇宙について語りません。彼らの DNA に、実際に宇宙論が組み込まれているのですから。狼、鯨・・・など、人間以外の動物がすべて、どう生きていくかを理解しているのは、遺伝的に引き継いだものの一部だからです。

私達は宇宙論から、この世界の根本的な意味、指針や、方向性を得るのです。

人間は、前進するために、自分達の文化で表現された宇宙論を必要とします。それによって、何をすべきで、何を避けるべきかの、重要度を理解するのです。自分達は誰なのか？何のために、ここにいるのか？人類は、宇宙論から、この世界の根本的な意味、指針や、方向性を得るのです。

今日、人類は、新説と旧説の節目にいます。これまで機能してきた説と、まだ効果的に機能しない新しい説の、分岐点にいるのです。私達は過去の説を重要とみなし、多大な敬意を払っています。しかしそれらが宇宙のことを、注意深く、正確に語っているわけではないことも知っています。私達は、過去の説が与えてくれた知識レベルや、当時、自分達が必要としたものを超えてしまったからです。

ですから、私達は過去の説が宇宙論として機能しないことを分かっているながら、まだ、そこから精神的な見識のようなものを、しぼり取ろうとしているのです。過去に語られていた説が重要であることは、疑問の余地がありません。しかし私達には、宇宙について実際に判ったことを下敷きにした、新しい理論を語り出す必要があるのです。私達の生きている瞬間を反映した理論です。私達は、人類の生存過程のある部分を、すでに通過してしまっただけです。今日、私達は、新しい形の人類として生きていく心踊る瞬間にいますのであり、人間であるということが、どういうことなのかを示してくれる、新しい宇宙論が必要とされているのです。

私達の進む道は、自分達が知っている宇宙で暮らし始めることです。

過去 400 年間における近代科学を理解するひとつの道 - それは、「科学は、人間が宇宙に関する新しい理解に到達するための方法だった」、とすることです。

その理解は、しかし、詳細な経験と観察に基づいています。どのような聖書の教えに沿ったものでもなく、いかなる特定の長老者集団の教えに沿ったものでもない。その理解は、宇宙、生命、地球、人類を、注意深く観察した結果なのです。

現在そうした知識のすべてが成長し、深まってきています。こうした知識が、筋の通ったひとつの理論 - 宇宙の誕生と、生命の発展に関する、新しい宇宙論になってきたのは、まだ、ここ数十年のことです。今、あらゆる知識が、1つになっている最中なのです。

私達の進む道は、宇宙に関する実際の知識に沿った暮らしを始めることです。自分達が実際に知っている宇宙で暮らす。そのくらい単純なのです。私達が知っている生命の中で、生きていくのです。

過去 100 年で、私達は、生命について、それ以前の人類史全体で発見したよりも、多くのことを発見しました。

この 100 年間に、私達が生物学、地質学、生態学、天文学で発見したことは、人類史全体で得られた知識の総量を上回っているのです。

そして人類はまだ、その知識の中で、どのように生きていくのかを学んでいません。まるで自分個人の人生には関係がないかのように、脇に置いています。ですから私達の進む道は、この新しい知識、新しい宇宙論というものが、実際に私達が誰で、どこにいるのか、そして、人類として、個人として、国家、企業として私達がなすことは何かを、判らせてくれるものであると、学ぶことなのです。

それによって、生き生きとした生命の未来への、根本的な道筋が開かれていきます。